

# 去りゆく団塊世代？



いもねえさん

## 去りゆく団塊世代？

---

去りゆく団塊世代、というタイトルだった。

私はあと4ヶ月早く生まれていたら「団塊」といわれるかたまりだった。ま、似たようなもんだ。

その記事の中にあんまりだ、という表現が。。。

実際の団塊世代はまだ若いから、特に意識もしていないし笑って見過ごすと思うけど。

65歳からを「老人」というので「老人」に加わります、だってさ。

「お払い箱」とか「老兵」とか。

あっ、そうですか。

そういえば、島の人口も64歳が一番多いとあった。

けどこれは私たちのせいではないよ。国策でしょ。

人数が多い分競争は激しかったよ。

ぬるくはなかった。

その世代がみんな役職につくわけでもないし、集団就職という言葉もまだあった。

さらに、2007年問題では盛り上がらなかったから、2012年こそは盛り上げようとか。

そんなに盛り上がるとは思わないけどね。

団塊世代にもしっかり格差はある。

裕福な人々はほんの一握りなの！

でも同世代が多いというのは、確実に商売のターゲットにはなる。

毎日のように、新聞には「団塊」という言葉が出てくる。

注目を浴びてることを楽しもう！

いっぱいいるというのはパワーを出したら怖いものなし！

又、シニアグラス買った！

---

老眼鏡を2つ持っていたが、さらに2つ買った。4つある。

これで老眼鏡を捜さなくていい。

パソコン用はいつもパソコンのそばに置いておく。

パソコン画面は、本を読む時と距離が違うので、パソコン用のメガネでは読書はキビシイ。

楽天のポイントで買えた。

今回もオシャレなのにした。

ブルーのチェックのと、レトロっぽいかすんだ金色。

ただレトロっぽい方は私には似合わない感じだ。顔色が悪く見える。

メガネでこうも違ってみえるんだなあ。

ただ、私は+3という一番度の強いメガネだ。ネットでは+3までしかないのもそれ以上になると困るな。

新しくメガネを買おうと思ったきっかけは、ある集まりだ。

とてもステキな人が歌を歌うらしい。

私と同年代だろうと思うけど若く見える。

が、伴奏が始まったら、、、かけた一、鼻メガネ！

かけないほうがいいって！！

きっと歌詞が見えにくかったんだろうけど。。。

メガネもオシャレなのが欲しいよね。

おそろいのジャケット？

---

えっ、上着同じじゃない？

20代と60代の男性のジャケット、同じだー。

20代の方にはフードがついている。

そして身長が高い分、若者らしく丈が短い感じがするけれど、

やや光沢のある黒のダウンジャケット。

おそろいのにしたの？

今は年なんて関係ないね。

好きなものを着る。

2人ともよく似合ってるわ。

## てもみん

---

私が背を丸めていたのか、休憩時間に肩をもんでくれた。  
とっても気持ちがよくなった。

そういえば、昔渋谷あたりに「てもみん」なんて看板が出てたよなー。  
私は身体をさわられるのが苦手な方で、でも手ならいいかー。  
今度行ってみようかな。

ネットで「手もみん」を検索。  
「てもみんではありませんか？」と親切に。

知らなかったー。  
てもみんとは手のひらを揉んでもらうのだとばかり思っていた。  
だって10分ぐらいでしょ。

うそー。  
いろいろなコースがあるのね。  
ビックリ。私はこれだと敬遠だな。

そりゃあそうだ、手をみるのは手相だよーね。  
揉んだってしかたないか。



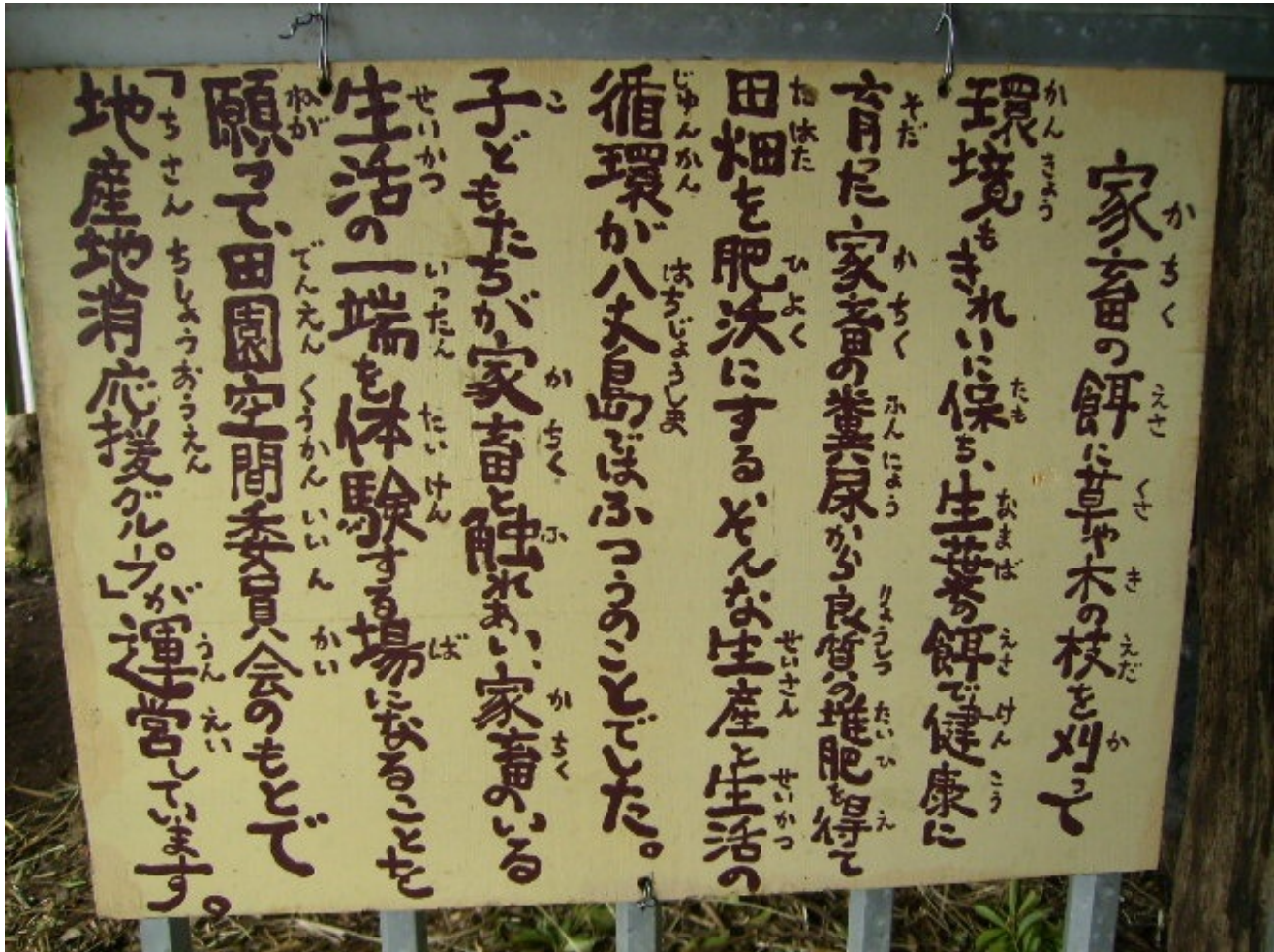
おお、ヤギ堆肥！

ヤギにビワの葉を持っていった。

きれいになったヤギ小屋にすわっていつものように口をモグモグ動かしている。

この寒波の中とってもおだやかな顔をして。

ヤギ堆肥は隅の方に山と積まれていた。



私はまだ畑の準備ができていないし、春になったらもらおう。

堆肥がすばらしいものに見える。

ヤギ堆肥は夏野菜に効くよ～と農協のオバチャンが言ってたからね。

私が持って行ったビワの葉をわき目もふらずカパカパという音を立てて食べています。

かわいい～



## 土鍋にスープ

---

寒い日が続く。

一人でも温かいスープは欲しい。

我が家の大きな土鍋にスープを作る。

鳥ひき肉で大量の肉団子を作った。土鍋で。

これが始まり。

冷凍するためだけにいっぱい作ったけれど、ゆでた後のスープがモッタイナイ！

しょうががいっぱいはいってるので、トムヤムスープにしてみる。

野菜、キノコ、豆腐、ネギ、あるものをどんどん入れていく。

しょうがが効きすぎた感もあるけれどこれは体が温まる。

これがあると寒い家に帰った時になぜか安心。

朝もこれだけでいいとか思ったりして。

麺をいれたりお餅を入れたり。。。

なくなった時、又作った。今度はキムチスープ。

具沢山で飽きない。

白菜なんかもうトロトロ。

味がうすくなったら麺つゆを入れたりして。

これに飽きた頃、暖かくなるのかなあ。



一人暮らし初めての冬。。。。

---

そういえば一人暮らしになったの初めての冬だ。

今年は特に寒い冬だという、こんな南の八丈島でも雪が降る。

何が亜熱帯区だよ、ねえ。

去年までは末子がいたから暖房もつけていたし、台所も使うし、それなりに暖かかったような気がする。

それがだ。

いやー、寒い！

部屋も広いし。人の体温ってけっこう暖かいのかも。

家に帰ったらまず電気敷き毛布を入れる。

そして暖かい飲み物を飲む。

それから着替えて温まった布団にもぐりこんで本やら新聞を読む。

これではいつまでたっても部屋が暖まるはずはない。

寒いなあ、、、ホント寒い。

一人暮らしってけっこう寒いもんだね、何十年ぶりかの一人暮らし、、、

あの頃は部屋が小さかった。

今、部屋がだだっ広いんだなあ。。。。

## ちょっとの晴れ間に

---

毎日寒いし、休みとはいえ外に出る気にならなかった。  
冬と言うのは何でこう雲が厚く曇り空が多いのかねー。

そんな時、日がさした。  
ヤギ小屋近くをオジサンが散歩していた。  
少し足を引きずり気味。  
こんにちわ〜、だいたいだれとでも挨拶をかわすのだ、この島は。

私はねー、10年前に脳溢血で倒れて、最初は全然動けなかったんだよ、手も動かなくて、、、  
でね、毎日ここを歩いてるんです。ここはすべらなくていいんだよ。  
畑もねー、やりきらんから、ちょっとだけだ。  
少しの立ち話にもお互い気持ちがほぐれる感じ。  
今日はちょっと暖かくていいですね。そうそう。

日がさす、暖かさ、こんなことがこんなにも気持ちを和らげてくれるんだ。  
以来、お酒もタバコもやらないよ、と言っておられた。

帰り、スーパーでカートにもたれかかるようにして足を引きずっていた女性がいた。  
知人も挨拶したものの、足を引きずっていた感じがした。  
寒くて腰と膝にくるとか。

あー、だんだんとそういう年齢になっていくんだなあ。  
もちろん私はズボン下、レグウォーマー、マフラー、腰部分は何重にも重ね着だ。  
かがむと腰の素肌が見える若い女性、もうあんなマネはできない。

## イーストコーン??

---

訪問入浴のお宅でのこと。

母は、すごくしっかり者で何でもできた人なのに、坂道をころがるように昨日できたことができなくなったんです。

何でできないのよ、とつい叱ってしまうんです、悔しくて、、、と。

自分の母親はスゴイ人だと思っていた、寝たきりになるなんて思いもしなかった、と。

私の母は大正生まれにしてキャリアウーマンで、いつもオシャレできれいにしていて、カッコイイと思っていた。

私も社会人になり帰省した時のこと、母もだんだん年はとってはくるものの現役だった。

母は50歳ぐらい、妹は大学生だった頃。

買い物をしてきた母は、これこれ、イーストコーンを買ってきた、と。

なに？

イーストコーン。

これスイートコーンでしょ！

今、私はそういう間違いはしょっちゅうで、自分でも自覚している。

だれもが私をどうしようもないオバサンと認めているしね。

でも、その時は、まだまだカッコイイ母が真面目に「イーストコーン」などとというのが悲しかった、、、

無性に腹立たしいというか、笑いをとっているのでもないからなおさらだった。

自分の母親が老いていく、、、なんか悔しいんだよね。

歓迎会に参加したものの。。。

---

体質的にアルコールを受けつけないし、飲み会にはまず参加しない私。  
でも、ちょっとごちそうが食べたくて参加した。

会そのものは講師の先生や遠方から来た方々を迎えての会だったので  
グチのような会でもなく、アルコールで乱れるようなものでもなく  
笑いのたえない会だったので、よかったのだけれど。。。

ただ食事が、、、冷たいというか、温めて食べるものではなかった。お刺身とかサラダとか枝豆  
とか。。。

温かい物が何もない！

飲み会の食事とはこういうものなのかー、知らなかった。

ジュースを2本飲んだおかげで体の中から冷えてしまった。

最初にトイレに立ったのは私。

良かったー、トイレのそばの席で。

みんなビールを飲んでではトイレに立つ。

私は温かいお茶を2度もらった。

最後に出たお汁が一番おいしかった。

私はトイレに2度立った。

変わった食べ物の食材を当てっこをして私が当てて、幻想的なビンの焼酎をもらった。

でも焼酎をもらっても私には、、、同僚に渡した。

寒いよ～

ああいう会でおいしいものを期待するのがマチガイ？

翌朝、喉が痛いし、もうイヤ！



たいした違いじゃない？

---

どうしてそんなに落ち着きがないんですか、僕の母と同じ62歳にもなって、と。  
メンバーに言われてしまった。

しばらくして、ねえ、さっき62歳って言ったけど、私61歳なんだけど。  
たいした違いじゃないじゃないですか。

いいえ、たいした違いです！

## ケータイの使い道

---

研修会が終了した後、  
私は片づけをしていたが、男性同士集まってケータイを出していじくっている。

そうか、今はこうやってケータイ番号を教え合うんだな。  
それにしても若い女性はやってなかった。  
今後の仕事上、情報交換に使うのかな。

へえ～

メモ用紙なんか必要ないんだね。  
私なんかそもそもケータイ番号の登録さえままならない。ついていけないわ。

時代の先端に行く私？カラオケ。

---

ヒトカラ、ワンカラが大人気とか。

私、ずっと前から家で一人でカラオケやってたよ。

もともと歌うのは好きだから。

涙そうそうの歌詞をネットで探そうとしたら、ユーチューブでいっぱいカラオケが出てきたことが始まり。

それなら歌えるようになりたい！

家には私一人だし、まわりに家もない。おまけに風呂場のようによく響く家。

だれに遠慮もいらない。

こんなところ人が見たらおかしいだろうなあと思いながら歌ってるよ。

だから、「ヒトカラ」が長い時は4時間待ちも、という記事にはさすがにビックリしたけれど、だいたいカラオケなんて人が歌うのなんて聞いてないじゃない。

私、時代の先端をいったんだ～

ってというか、ネットでそれだけ流れてるということは、家で歌ってる人多いんじゃない？

一度ネットで見るといいよ。

ビックリするぐらい出てくるから。